

都萬神社御神系

(伊勢神宮)
天照大神

(霧島神宮)
ニニギの尊

(鹿児島神宮)
(青島神社)

(鶴戸神宮)

(宮崎神宮)

ヒコホホデミ尊 || ウガヤフキアヘズノ尊 || 神武天皇

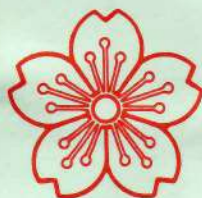
◎コノハナサクヤ姫

(都萬神社)

宮崎県西都市大字妻一番地

都萬神社宮司 川越佑一

電話(〇九八三)四三一二二三八番

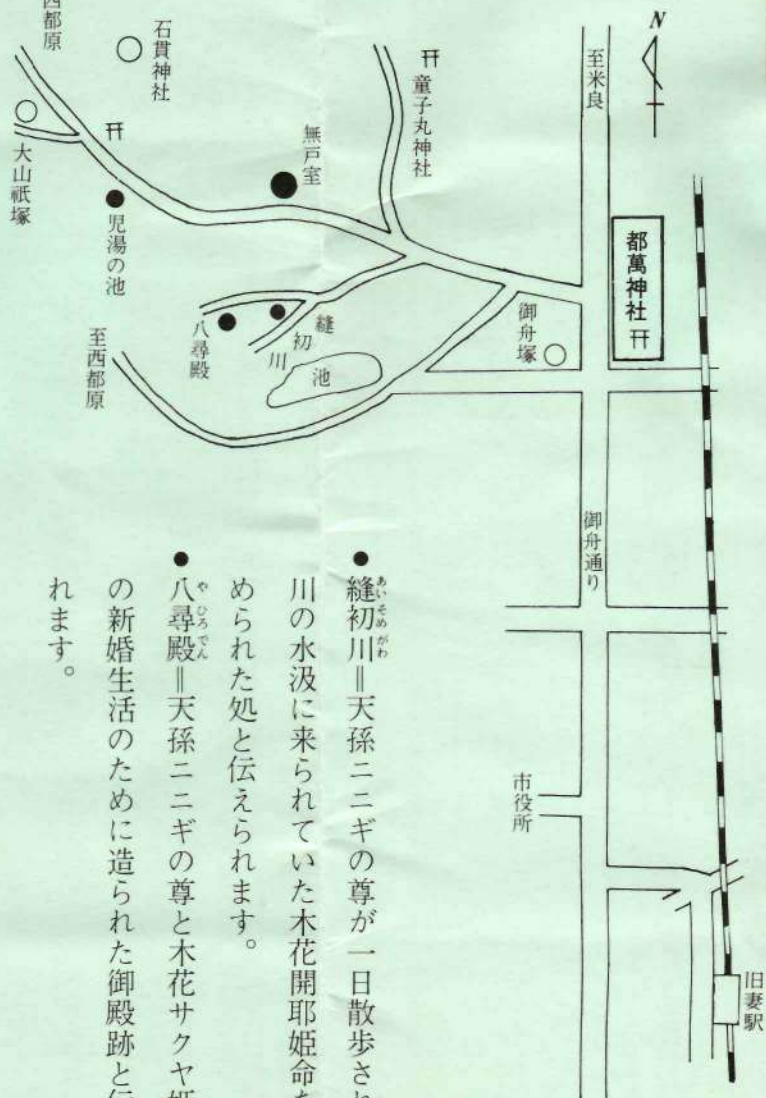


日本の心のふるさと西都

延喜式内 都萬神社案内記

縁結び安産の神

皇孫御生誕の地西都の史跡案内図



- 縫初川あいそめがわ 天孫ニニギの尊が一日散歩されこの川の水汲に來られていた木花開耶姫命を見初められた処と伝えられます。
- 八尋殿やひろでん 天孫ニニギの尊と木花サクヤ姫命との新婚生活のために造られた御殿跡と伝えられます。

- 無戸室うつむろ 木花サクヤ姫命は一夜にして御懷妊されたのを疑われたので身を以って貞節を示さんものと火を放ちて誓をたてられ無事三皇子をお生みになり女性の純潔を示された産殿跡。
- 児湯の池 産湯の池 於てお生れになった三皇子の産湯に使われた池と伝えこの地方を児湯郡と云う。

◎ 天孫降臨と都萬神社

恋にやさしい縁結びの神

当都萬神社は大山祇神の娘木花開耶姫命をお祀りする延喜式内のお宮で妻萬宮とも申します。天孫瓊々杵尊と木花開耶姫命が縫初川で見縫され事勝国勝長狭神の仲人により日本最初の正式な結婚式が八尋殿で挙げられ新婚生活を送られた処と伝えられサクヤ姫は結婚一夜にして御懷妊されたので天孫ニギの尊はたして自分の子供であろうか？と疑われたのをはぢ給い木花開耶姫命は身を以て貞節を示さんものと「無戸室」産殿に火を放ち『もし貴方の子供でなかったら私は焼け死ぬでありますよう、貴方の子供であれば火に害のう事なく無事に生れましょう』と誓いをたてられ無事に三人の皇子（火蘭降命、彦火火出見尊、火明命）をお生みになり女性としての純潔を示されたところと伝えられます。そのことは「日本書紀」に次のように記されています。

天孫瓊々杵尊 日はく、「汝は（サクヤ姫に対し）「靈異しき威有し。子等復倫に超れたる氣有り」と仰せになり木花開耶姫命をいたわり敬愛の情をお示しになっています。三皇子の御名は火の中でお生れになったので火の字が附してあります。尚無戸室産殿でお生れになった三皇子の産湯をお使いになった「児湯の池」が史跡として保存されています。

さて無事に御生れになった三皇子をお育てになるに母乳で足りない分を補なうため一方ならぬ御苦心の程が伺われます。西都原よりわき出づる水を利用して狭名田と言う細長い田を作りその田の稲（お米）で甘酒を造り、その甘酒を以て三人の皇子を御養育されたと伝えられています。都萬神社では今尚秋の大祭には必ず甘酒を神前にお供えしてお祭りをするに なっています。又日本書紀に木花開耶姫命「卜田を以て狭名田と曰う、その田の稲を以て

て天の甜酒あめぢけを醸かみて新嘗にいなへす、淳浪田ぬなだの稲いねを用もちて飯いひに為なしぎて新嘗にいなへす」とあります是が地上に於ける新嘗祭にいなめまつりの起源きげんともなっています、甜酒美酒たみぎけびしのことなりとあり、我国で始めてお米を以つて造られたお酒の発祥地はっしやうちは西都市であり、木花開耶姫きはなけいやはimeを祀る都萬神社であることが日本書紀により証明されています。

都萬神社南西に当る処に現に酒元さかもとと云う部落がありバス停留所もあります。

◎恋の願いが叶い良縁に恵まれる

特殊神事

“更衣祭”

（七月七日夕祭）

都萬神社の更衣祭は日本のお祭りの中でも最も珍らしい祭典行事であります。祭神木花開耶姫命よめのみことが天孫瓊々杵尊すめみことに縫初川のお見縫なみぬいによつて長狹神ながさかのみことの媒介なかつたに依りお嫁入りされる時の古事こじそのままの姿をおつくりする神事で晴はれの婚礼衣裳こんれいいしやうをサクヤ姫の御神像ごしんざうにお着せ申し白粉おしろいや口紅くちべにをつけ角隠つのかくしの帽子ぼうしをかぶせ花嫁姿なまめになられる有様を生でじかに行うゆかしい神事でありますこの神事が我が国婚姻儀礼こんいんぎれいのハジメであると社伝にあります。当日は午後三時まで全く可愛らしい清らかな姿を御神殿正面に御遷座ごせんざ申し上げその間一般参拝者に拝観が許されます。良縁に恵まれ仕合せな結婚が出来た人。又良縁に恵まれた人の参拝が多く殊ことにお母さん方のお参りが多いのは母親の愛情から女性の守り神として崇敬すうけいが厚いからであります。青年男女のお参りは特に正月の年頭参拝は押すな押すなの盛況ぶりで最近では東京方面からの女性参拝も多くなっています。

“若草のつまのやしろは今も尚

昔を偲おもび花嫁つくる”